

7月8日 インクルーシブ教育・保育研修会

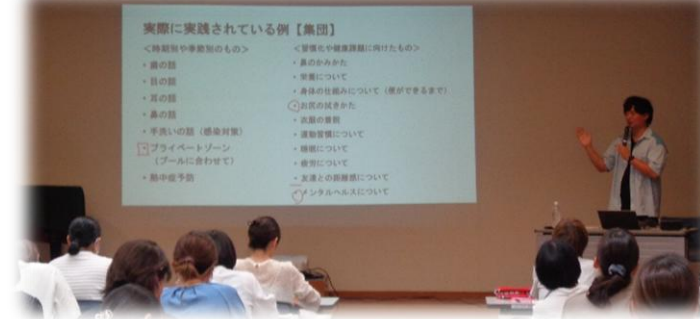


☆園所の支援体制づくりと保護者支援☆

保護者支援で大切なこととして、保育者は保護者の子育ての「伴走者」であり、一人ひとりのペースに合わせ、保護者の立場に立って考えること、子どものニーズに合わせた配慮を行い、その先の育ちも見通すことで保護者の信頼につながることを、園長や主任の役割・担任などの身近な保育者の役割などを意識し、保護者の支援は組織的に行うことなどお話をいただきました。



7月17日 看護職・養護教諭研修会



☆保育施設における看護職の役割について考える☆

保育施設において、看護職の役割としては、子どもの健康管理と発育発達の支援が大切で、その他にも安全対策や衛生管理、感染対策や予防、健康教育や職員の健康管理などを行うことが求められています。施設内においては、多職種間での役割を整理し、連携していくことが大事だということをお話いただきました。保育園所での乳幼児に向けた健康教育についても、講師の先生の体験も踏まえてお話をいただきました。各園所での悩みや取り組んでいること等をグループワークで話し合い、明日からの取組につながる良い機会となりました。



7月28日 子育て支援研修会



☆保育者は保護者に如何に向き合うことができるのか？

～子育て支援・地域との連携～☆

こども誰でも通園制度の意義と課題について、一時預かり事業との違いについて、こども誰でも通園制度は、「サービス」ではなく、保護者と共に子育てをするための制度であること、こどもの特性等を把握するアセスメント力が求められること等詳しくお話をいただきました。保護者を支援するポイントとして、あるがままに受容・許容される体験が安心の獲得につながることや、答えるだけが相談対応ではなく、保護者の取り組み（試み）について状況を丁寧に聞き取り、保護者の思いをしっかりと傾聴すること、取り組みの結果よりも経過を十分に受け止め、保護者の苦心を認めることが大切であること等様々なことを学ぶことができました。



○子どもの人権としての平和 —子どもの絵から考える—○

子どもを取り巻く環境について日本や諸外国の現状を学ぶことができました。「知っている」と「理解している」とは別であり、知ったことを理解していくことが大事であることや、福山市における幼児期からの平和教育の取組を通して、子どもたちが平和の大切さと命の尊さについて考える体験活動を学びました。その中の折り鶴制作をグループで模造紙を使って折り、それぞれの役割、協力し合う気持ちなどを体験しました。「命があるからこそ保育ができる」ということを実感し、日々の保育への意欲が高まりました。

7月29日 タイムリー研修会

